

平成29年度 新潟北区文化会館 指定管理文化事業報告書

区分	NO	事業名称	実施日 (公演日)	会場	料金	入場者数	事業内容説明等
鑑賞事業	1	稲穂シリーズVol.1 奥村愛コンサート	5月14日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 一般2,000円	249人	今年度より新たなシリーズとして「稲穂クラシック」を立ち上げた。その第1回目としてヴァイオリニスト奥村愛と作曲家、ピアニストで知られている加藤昌則によるデュオコンサートを開催した。5月の田植えに際して、春を感じる曲目を奥村愛さんの素晴らしい演奏でお聴きいただいた。
	2	映画「母と暮らせば」	6月22日 (木曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	503人	北区内にお住まいの方をターゲットに、無料映画上映会を開催した。入場料無料にすることで、広く多くの方にお越しいただくことを目標とした。日本を代表する俳優・吉永小百合と二宮和也が出演する「母と暮らせば」を上映し、戦時中の原爆や命の大切さを問いかけるメッセージ性の強い作品を取り上げた。
	3	劇団ブーク「ピンクのドラゴン」 ＋ワークショップ	7月29日 (土曜) 7月30日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 大人2,000円 子ども1,000円 親子ペア 2,800円	383人	「新潟県」と「新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会」とともに主催として実施。「平成29年度文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」として助成を受ける。 親子で楽しめる演劇として、家族でご来場のお客様が大半を占めた。幼児も多いたが、迫力あるドラゴンや物語に魅了され、子供達も飽きることなく集中して鑑賞しているのが感じられた。前日には、ドラゴンの人形作りワークショップを開催。子供らしい豊かな発想力で個性あふれる人形が出来上がった。
	4	アプリコット「小公女」	8月11日 (金曜) 8月12日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 一般700円	1,839人	りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館との初の共同主催事業となる。りゅーとびあが大規模改修工事に入り、劇場が使用できないため北区での開催となった。「APRICOT」とは、りゅーとびあで立ち上げられた劇団で、市内の小学4年生～高校生までの子どもたちが活動しているおり、16年目を迎える。有名な古典文学である「小公女」を舞台化し、これまでりゅーとびあで4回上演され、5年ぶり4回目の上演となる。本番10日前より仕込みを開始し、子供達も北区へ通っての稽古となった。一日昼夜の2公演ずつ開催したが、全公演ほぼ満席でカーテンコールは毎回スタンディングオベーションとなった。
	5	春風亭昇太 門下生ライブ	9月10日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 一般2,000円	62人	春風亭昇太さんの門下生お二人の落語会をスタジオ1で行った。平台と金屏風で高座をつくり、客席はコザの上の座布回席と椅子席を用意し、客席を再現した。それぞれ二席ずつ披露し、終演後にはお客様のお見送りに出てこられるなど、とても親しみやすいお二人にお客様からも好評の声をいただいた。
	6	映画「ミニオンズ」	9月17日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 一般300円 中学生以下 100円	95人	子ども向けの映画上映として大人気シリーズの「ミニオンズ」を企画した。同時期に同シリーズの最新作が公開となり、当館での上映作品が、公演日に先がけてテレビで上映されてしまった。その影響で予想よりも乗客が伸びなかった。
	7	南こうせつコンサートツアー2017 ～おもかげ色の空～	10月21日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 6,500円	557人	知名度の高い南さん。根強い人気で、県内外から多くのファンの方からも足を運びたい。初めて来館された遠方のお客様から、自家製の特大ポスターを大絶賛していただき、記念撮影を撮っていかれるほどの人気だった。公演は、2時間半休憩なしで軽快なトークと名曲連の演奏を行い、見ごたえたっぷりのコンサートとなった。
	8	稲穂クラシックVol.2「第1回大谷康子とアンサンブルNORTH新潟」	11月25日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 大人3,800円 中学生以下 1,900円 セット券 3,420円	209人	新潟県内で初めての会館座付きのプロアンサンブル「アンサンブルNORTH新潟」を結成し、仙台フィル・コンサートマスターの西本さんや東京音楽大学准教授のドミトリー・フェギンさんなど新進気鋭の若手アーティスト11名と日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子さんの計12名による演奏会を開催した。また、稲穂クラシックシリーズの第2弾として北区にクラシック音楽を根付かせるため、広報宣伝活動を積極的に行った。
	9	山本陽子さんのお芝居をみてご一緒にお食事する会	12月3日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 一部のみ 1,000円 お食事会セット 4,500円	336人	ドラマや映画など、多岐にわたり活躍されている、実力派女優・山本陽子さんのひとり語り。舞台道具は椅子1つだけとシンプルに、他の演技や光などの演出で物語を劇り上げていった。途中、客席の所々より鼻をすする音が聞こえ始め、感涙しているお客様が見受けられた。また、本公演終了後には、自主事業として地元老舗割烹の中央亭にてお食事会を開催。80人以上の方が参加され、おいしい食事を取りながら、山本さんへの質問時間を設けるなどで会場一体となって楽しい時間を過ごしていただいた。
	10	第8回新春北区落語まつり 「春風亭昇太」	1月21日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席指定 3,500円	565人	例年は3月に落語独演会を行っていたが、今年度は1月に新年最初の公演として開催した。昇太さんのオープニングトークから始まり、前座として二つ目の春風亭昇吾さんに「格気の独楽」、昇太さんに「看板の一」「宿屋の仇討」を披露していただいた。
	11	映画上映会「伊豆の踊子・俺は待ってるぜ」	3月4日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 800円	143人	懐かしい昭和の名作である「伊豆の踊子」(1963年公開)と「俺は待ってるぜ」(1957年)の二本立て上映を企画した。 6月の映画上映会「母と暮らせば」に引き続き吉永小百合出演シリーズとして、「伊豆の踊子」を上映し、過去の作品と現代の作品をどちらも楽しめるよう作品選びを行った。
創造事業	1	次世代を担う舞台芸術 演劇「二日月」	8月26日 (土曜) 8月27日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	1,611人	キャストオーディションやワークショップを昨年度から開始しており、4月から本格的な稽古をスタートさせて約7カ月間で本番を迎えた。初日と二日目の昼公演は入場整理券が完売し、初回公演では「二日月」原作者のいとうみく先生にもお越しいただいた。全4公演とも入場無料としたが木戸銭箱を設置し、ご鑑賞いただいた後にお客様に「おひねり」として募った。
	2	北区ジュニア吹奏楽団 第3回定期演奏会	9月24日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	155人	過去2回は1月開催だったが、受験生への負担を考慮して今年度から9月開催とした。そのため通常より練習期間が短い間隔での開催となったが、受験生一人も欠席することなく団員全員がステージに立つことができた。曲数は前回より楽曲を増やし、内容の充実を図った。
	3	第5回北区うたの祭典「童謡シリーズ・ふるさと新潟の童謡(うた)」	12月17日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 一般 3,000円 中学生以下 1,500円	313人	文化庁芸術文化振興基金(地域の文化振興の活動)を受けての事業。今公演のために公募市民で結成したうたの祭典合唱団と、北区少年少女合唱団をはじめ、ゲストとして童謡歌手として名高い芹洋子さんにご登壇いただいた。第一部ではそれぞれの団が昔から歌われている童謡を披露。子供達の個性あふれる演出や素敵な歌声にお客さんも引き込まれている。第二部は芹洋子さんのステージ、第三部はうたの祭典合唱団と北区少年少女合唱団の合唱に、うたの祭典特別オーケストラの演奏が加わり、大迫力のステージとなった。
	4	北区少年少女合唱団 第1回定期演奏会	3月18日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	157人	「第1回定期演奏会」は司会台本、舞台の進行・演出などを団長を中心として子どもたちがアイデアを出しあい、それを実践していった。曲に合わせたダンスを創作したり、曲の紹介文章を考えてMCの担当を決めたりと、すべてがはじめてのことに関わらず、「お客さまに楽しんでほしい」と一生懸命な様子に子どもたちの成長を感じた。
1	アウトリーチ ヴァイオリン・マリンバ	5月18日 (木曜)	新屋敷まつはま園	入所者・職員 参加費100円	76人	設けられた近郊の一般の方が参加してくれた。車いすやベッドに寝た状態の方も多かったが、施設スタッフが手際よく誘導し、会場は溢れるくらいに参加した。体験コーナーでは、実際に体験は難しいので、伴奏に合わせて「ふるさと」を合唱。皆で歌う等は施設でも日常的に行われていると思うが、生の演奏で歌うのは又違った体験として、参加者には印象に残るであろう。	
		5月19日 (金曜)	市立木崎保育園	児童・職員・ 保護者 参加費100円	96人	初開催となった当園は、施設内に子育て支援センターがあり、コンサートには支援センターの利用者もさんかしてくれた。 演目に園児たちが体全体でリズムをとれる曲目を採用し、先生方にも協力していただき、全員で手拍子などして音楽を楽しんだ。	
	ワンコインご縁コンサート ヴァイオリン・マリンバ	5月19日 (金曜)	有料老人ホームくまの杜	入所者・職員 参加費100円	45人	開演の前に全員で軽い準備体操を行うなど老人施設特有の光景が見られた。本番中、「ふるさと」などの耳馴染みの曲を一緒にうたったり、手拍子などする方や、美しい音色に目をつぶり、しっかり耳を傾けている方、講師の指の動きをしっかりと見つめている方など、様々な楽しんでいただけた。	
		5月20日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 495円	110人	今年度より新たに始まった「ワンコインご縁コンサート」の第1弾。初開催のため集客が心配されたが、市内出身のお二人は、地域住民の認知度も高く、準備していたプログラムが足りなくなるなど予想より良い入りとなった。0歳から入れるコンサートでもあるので、子供向けの手遊び歌をお客さん全員と歌ったりし、和やかなコンサートとなった。	

平成29年度 新潟北区文化会館 指定管理文化事業報告書

普及育成事業	2	アウトリーチ ヴァイオリンとピアノ	6月9日 (金曜)	市立岡方第一小学校	児童・職員 参加費100円	169人	岡方第一小学校に、隣接する越岡保育園の園児を招き、一緒に鑑賞するという 当事業初の合同開催となった。普段交流の無い児童達だが、同じ空間で音楽を 聴くことで、社会性が育まれ、一体感を生み出していた。
				デイサービスセンター松 浜	入所者・職員 参加費100円	50人	初開催の会場となった。会場にピアノが無いため、会館のシンセイザーを持 参した。
		ワンコインご縁コンサート ヴァイオリンとピアノ	6月10日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 495円	87人	今年度より新たに始まった「ワンコインご縁コンサート」の第2弾。国内外で活躍 しているピアニスト若林顕さんとヴァイオリニストの鈴木理恵子さんによるピアノ とヴァイオリンのデュオコンサートをお楽しみいただいた。ワンコインコンサートの コンセプトである気軽さと本格的なクラシックの作品をあわせたプログラムの 構成となった。
	3	アウトリーチ チェロとピアノ	9月22日 (金曜)	市立にこりかわ保育園	児童・職員・ 保護者 参加費100円	113人	チェロ奏者の片野さんが軽快なトークや子どもたちが興味を示すようなお話を交 え、ポップスから本格的なクラシック作品などを演奏していただいた。演奏後には、 小さなヴァイオリンを一弾きできる体験時間もあり、子供たちはもちろん先生 方も一緒に盛り上がっていた。
				ショートステイ藤の木の 里	入所者・職員 参加費100円	51人	施設にピアノが無いため、電子ピアノを持参した。「ふるさと」など耳馴染みの曲 を多く演奏してもらい、参加者は手を叩いてリズムをとったり、ロズさんで各々楽 しんでいた。
		ワンコインご縁コンサート チェロとピアノ	9月23日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 495円	93人	今年度より新たに始まった「ワンコインご縁コンサート」の第3弾。チェロの片野 大輔さん、ピアノの清水美香さんによるチェロとピアノのコンサートを行った。片 野さんによる軽快で親しみを感じさせるトークを交えて、有名なチェロの作品など お楽しみいただいた。
4	アウトリーチ 尺八と箏	10月5日 (木曜)	市立早通南小学校	児童・職員・ 保護者 参加費100円	116人	6年生を対象として開催した。学校にある楽器を事前に準備していただき、講師 の持込み楽器と合わせて児童全員に楽器を持ってもらい、講師の合図で音を出 しながら全員で一曲奏でる体験をした。	
		10月6日 (金曜)	尾山愛広苑	入所者・職員 参加費100円	63人	公演場所は施設のホールで普段利用者の方々で昼食を取る広いスペースで演 奏を行い、場所の都合上ご利用者がいる前でのリハーサルとなった。年齢層に 沿ったプログラムで時代劇モデルなど演奏し、お客様の中には一緒にロズさん だり手拍子する姿も見られた。	
			岡方コミュニティセンター	地域住民 参加費100円	42人	周辺地域のご年配の方々聴きに集まってくださったため、内容も楽器の説明 を多くしていただいた。箏では定番の「春の海」や、薫風の音オリジナル曲など 様々な曲を披露した。	
	ワンコインご縁コンサート 尺八と箏	10月7日 (土曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 495円	132人	和楽器を身近に感じていただけるよう、出演者の意向で音響を使用している コンサートを行った。音から伝わる伝統曲から、J-POPを和楽器風アレンジした ものなどバラエティ豊かなプログラムをお送りした。	
交流発信事業	1	北区音楽文化の祭典① 「北区音楽祭2017」	11月12日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 無料	1,500人	『平成29年度文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業』として助成を 受ける。北区音楽文化の祭典の第一弾事業。北区内で活動中の音楽やダンス の団体が、日頃の練習の成果を発表した。昨年までダンスと音楽の部を分けていたが、今年からジャンル問わずの出演順 にしてみたり、助成金分でゲストを招いて演奏いただいたりと、プログラムを改善 した。
	2	北区音楽文化の祭典②「北区 フィルハーモニー管弦楽団 第7 回ファミリーコンサート」	11月19日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 一般1,000円 中学生以下 500円	454人	『平成29年度文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業』として助成を 受ける。北区音楽文化の祭典の第二弾事業。子供から大人まで楽しめるコン サートを目標としている。 今年のテーマは「今もあなたのこころに残るあの曲」。子供の頃学校で聞いたこ とのあるような曲や、テレビ・映画で聞き馴染んだ曲などを披露した。背景のスク リーンには曲に関連した写真が映し出され、観ても聴いても楽しい演出を行っ た。
	3	私もピアニスト	通年	新潟市北区文化会館	無料	229人	貸切のホールでフルコンサートピアノを自由に弾いてもらい、ステージの広さや、 ホールならではの音響の良さを体験していただいた。北区はじめて市内外からも 多くのお客様に参加していただけた。男女問わず大人の方1人での利用が大半 だが、小学～高校までの学生の利用も増えてきている。今後も身近なホールと して、快適にご利用いただけるよう努めたい。
	4	センターコモン利用	通年	新潟市北区文化会館 センターコモン	無料	-	鯉のぼりの掲揚や、まちごと美術館美術館事業実施時の障がい者制作のア ートの展示等、建物周辺の賑わいの創出と、活性化につとめた。
	5	まちごと美術館	8月19日 (日曜)～ 27日 (土曜)	新潟市北区文化会館 センターコモン	無料	約4,000人	障がいをお持ちでありながら、芸術創作活動に親しんでいる方がいるが、その 作品に触れたり、鑑賞したりできる発表の場はまだ限られている。障がいをも って生まれた子どもとそれを受け継ぐ家族として成長してゆく姿を描く「二日月」 公演に合わせて、新潟市内外で創作活動に取り組んでいる障がい者の絵画(約 40点)を館内外に展示。
	6	夏休み親子ピアノ体験会	8月1日 (火曜)	新潟市北区文化会館	無料	7人	夏休み特別企画。北区夏休み子ども公共施設利用体験(無料バス運行)に合わ せて、会館のグランドピアノを親子を対象に無料開放。
	7	共催 第6回みんなで作る楽し い文化・スポーツ発表会	2月4日 (日曜)	新潟市北区文化会館	無料	1,303人	ハピスカとよさかとの初共同主催事業。今まで豊栄総合体育館で開催されて いたが、今年はホールでの開催となった。東日本大震災のチャリティーイベントの ため、当日ロビーに募金箱を設置し、募金を募った。 北区内で活動しているダンスや演劇の団体が、日頃の練習の成果を発表した。 ホールでの公演終了後には、練習室にて各団体の講師による無料体験教室を 開催。
	8	にいがたジュニアコーラス・フェ スティバル2018	2月11日 (日曜)	新潟市北区文化会館	全席自由 500円	377人	例年事業参加している、にいがたジュニアコーラス・フェスティバルが例年の開 催会場(りゅーとびあ)の改修工事のため利用できず、本年度は、新潟市北区文 化会館とジュニアコーラス・フェスティバル実行委員会のW主催で開催する こととなった。新潟市とその近郊で活動する合唱団が日ごとの練習の成果を 発表した。
	9	共催 区制移行10周年記念事 業「新潟市のあゆみ」北区の歴 史講座・『神楽舞の上演会』	3月3日 (土曜)	新潟市北区文化会館	無料	153人	区制移行10周年記念事業として、新潟市歴史文化課との共同開催。同課が29 年度1年間かけて、市内の各区で開催してきた事業であり、北区では当館での 開催となった。合同開催のうち、当館主催として北区高森地区の高森いざや神 楽保存会より神楽舞を披露していただいた。また、歴史文化課職員より「阿賀北 の豊かな自然」等の講話があり、イベント終了後には熱心な参加者からの質問 が後を絶たないほどの盛況ぶりだった。
	10	北区少年少女合唱団	通年	新潟市北区文化会館	月額 300円	620人	結成当初から活動してくれていたメンバーが一気に卒業し、気持ちを新たにス タートした一年であった。新団員の小学校1～3年生の低学年チームが若干増え たこともあってか、高学年チームの成長を特に感じられた。2月の「にいがたジュ ニアコーラス・フェスティバル2018」では幹事団体として本番の司会進行を務め た。
	11	北区ジュニア吹奏楽団	通年	新潟市北区文化会館	月額 500円	532人	今年度は1年を通して団員が25～30名で推移した。団員自身が友人を勧誘して くる姿もみられたが、チラシやホームページを見て入団してくれた子もいた。9月 の定期演奏会後は練習日をこれまでの月2回から月3回に増やした。その1回を 講師を呼ばない団員のみで練習日とすることで、子供たちに団員としての自覚 と責任感ができ、積極的に声掛けや行動をする団員が増えてきた。また、前年 度に引き続き、マリimba、和太鼓、電子ピアノ、各種打楽器等の購入整備を図っ た。